

1 前提

該 当 す る 地 域	県下全域
設定した経営規模	パンジー 30 a、はばたん 5 a、ペチュニア 12 a、マリーゴールド 9 a、サルビア 6 a
自 家 労 働	2. 5 人
そ の 他	

2 作付体系

年次	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
各年次		○……………◎————□□□□□□□□											

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、○トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種 類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A) × R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B) ÷ (C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A) - (D) × (E)	自己資本 割 合 (G)	自己資本 利 子 (f) × (G) × 利子率
作業場	木・瓦	40 m ²	3,696,000	48	1,788,387	1,788,387	15	119,226	8	834,581	100	33,383
低コストハウス (耐4	6m×50m	10 棟	27,750,000	53	14,568,750	14,568,750	14	1,040,625	7	7,284,374	50	145,688
動力噴霧機	可搬式5MP	1 台	283,800	48	137,323	137,323	7	19,618	4	58,852	100	2,354
灌水ポンプ	3.4ps	1 台	143,220	48	69,300	69,300	7	9,900	4	29,700	100	1,188
背負式動力噴霧機	空冷2サイクル	1 台	92,180	48	44,603	44,603	7	6,372	4	19,115	100	765
真空播種機	100V 100ト	1 台	397,100	48	192,145	192,145	7	27,450	4	82,347	100	3,294
液肥混入機	取付口径3	1 台	154,000	48	74,516	74,516	7	10,645	4	31,935	100	1,277
普通トラック	2WD 1t 5M	1 台	2,230,000	48	1,079,032	1,079,032	5	215,806	3	431,613	100	17,265
軽トラック	4WD、5MT	1 台	1,200,000	48	580,645	580,645	4	145,161	2	290,323	100	11,613
合計			35,946,300		18,534,702	18,534,702		1,594,803		9,062,840		216,826

4 技術体系 (10 a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10 a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
パンジー	パシオシリーズ デルタシリーズ インスパイヤーシリーズ	秋冬出荷	65,000ポット	ビニールハウス	30a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準				
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間		
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間
								燃 料 消費量 (ℓ/10 a)
は 種	7/下	セルトレイ288穴 水稻育苗箱 ブラグメイト (50リットル) 種子 ハーミキュライト (30リットル)	331枚 331枚 27袋 96,000粒 3.3袋	播種機	○覆土は種が隠れる程度とする ○ハウスは寒冷紗などで遮光して地温の上昇を防ぎ、風通しをよくする。 気温は30℃以下になるようにする。		2	72.0
かん 水	7/下～8/下			人力 かん水ポンプ	○発芽までは地表面乾かないようにかん水する。 ○発芽後は控えめにかん水する。		1	40.0
追 肥	8/中～下	PSバリアミ2号	150ml	液肥混入機	○葉色をみながら、1000倍程度の濃度で散布	4.0	1	4.0
鉢 上 げ	8/下	9 cmポット ポットソイル (40L)	76,470個 479袋	人力	○本葉3～4枚時、セル内に根がよく張った状態で行う。		2	130.0
かん 水	8/下～11/上			人力 かん水ポンプ	○初期は乾かない程度に控えめに生育にしたがって十分に行う。		1	135.0
わい化剤処理	9/上～	スーパーIBS222 PSバリアミ2号	80kg 300ml	人力 液肥混入機	○鉢上げ後7～10日後に1ポット当たり1g施用する。 ○液肥は750倍で生育に応じて行う。	4.0	2 1	86.0 4.0
追 肥	9/上	スミセリンP液剤	300ml	背負式動力 噴霧機	○鉢上げ10日～2週間後に250～300倍で散布する。	5.0	1	5.0
スパーシング	9/中～9/下			人力	○鉢上げ後2～3週間後に葉が重なりあうようになったら、鉢の間隔を広げる。		2	40.0
病害虫防除	8/下～11/上	セイトアフロアック #20 ファンタジスタ顆粒水和剤 スコア顆粒水和剤 アファム乳剤 フェニックス顆粒水和剤 クララDF コロト顆粒水和剤	400ml 200g 300g 400ml 200g 200g 100g	動力噴霧機	○灰色かび病が発生しやすいので通風に努めるとともに薬剤散布する。 ○アブラムシ、アザミウマの発生には特に注意を要する。 ○防除は10日間隔程度で行う。	24.0	1	32.0
出 荷	10/中～11/下	出荷用かごトレイ	1625枚	トラック	○一番花が開花し、二番花が見える頃1トレイ40ポット、5～7色組み合わせて一定の方向に花が向くよう出荷する。		2	520.0
合 計								1,068.0

経営試算(10a当たり)

区分	科目	金額	説 明
粗収益	主産物価額③	3,770,000	生産量①： 65,000 ボツト 単価②： 58 円／ボツト
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	主産物価額	0	生産量： 単価：
	副産物価額④	0	
	計 (A)	3,770,000	
生産費	生産原価	種 苗 費	391,147
		肥 料 費	22,813 使用資材等は技術体系のとおり
		農 薬 費	36,042 //
		諸 材 料 費	784,953 //
		動力光熱費	38,622
		農 具 費	29,034 機械負担価額×4%
		建物等修繕費	102,160 建物・構築物負担価額×1%
		賃 料 料 金	0
		共 済 掛 金	5,895
		雇 用 労 賃	290,965
		減価償却費⑤	531,601 別表のとおり
		土地改良費	7,480
		支払地代⑥	0
		小計 (B)	2,240,712
	販売費一般 管理費	出荷資材費	123,338
		販 売 諸 費	1,010,750
		諸税負担金	20,074 農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,109 農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	24,281 借入資本利率2%
		小計 (C)	1,187,552
	経 営 費 (D)		3,428,264 注) (D) = (B) + (C)
	家族労働費見積額 ⑧		996,060 農 従 労 働 時 間： 751.7 生産管理労働時間 14.5 1,300 円／時間
	支払利子・地代算入生産費(E)		4,424,324 主産物単位当たり 68 円／1ボツト 注) (E) = (D) +⑧-④
	自己資本 利子(F)	流動資本利子⑨	77,369 注) ⑨= ((E)－⑤－⑦) / 2×0.04
		固定資本利子	72,275 利率4%
	自 作 地 地 代 (G)		5,385
	全算入生産費 (H)		4,579,354 生産物単位当たり 70 円／1ボツト 注) (H) = (E) + (F) + (G)
所 得 (I)		341,736	時間当たり 446 円 注) (I) = (A) - (D)
所 得 率 (J)		9	注) (J) = (I) ÷ (A) ×100
農企業利潤 (K)		-809,354	注) (K) =③- (H)
家族労働報酬 (L)		186,706	時間当たり 244 円 注) (L) = (I) - (F) - (G)
農業資本利潤 (M)		-654,324	注) (M) = (I) -⑧

労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬 作業名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
播種																		72.0																72.0			
かん水																		10.0	10.0	10.0	10.0													40.0			
追肥																				2.0	2.0													4.0			
鉢上げ																					130.0													130.0			
かん水																					20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	10.0	10.0							135.0		
追肥																					6.0	25.0	25.0	12.0	10.0	6.0	6.0							90.0			
わい化剤処理																						5.0												5.0			
スベーシング																							20.0	20.0										40.0			
病虫害防除																					4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0							32.0		
出荷																										30.0	140.0	140.0	120.0	90.0					520.0		
計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0	10.0	12.0	172.0	54.0	69.0	56.0	34.0	55.0	160.0	154.0	120.0	90.0	0.0	0.0	0.0	1,068.0		

生産管理労働時間

(14.5)